

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 390 号	氏名	山田 義久
学位審査委員	主査 青柳 潔 副査 高橋 晴雄 副査 永安 武		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、脈絡膜新生血管に対する黄斑移動術の長期成績を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 診療記録を基に脈絡膜新生血管を原因別に分類し、術後合併症、検眼鏡的眼底所見の経過、視力経過について後ろ向きに検討したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、脈絡膜新生血管に対する黄斑移動術は、加齢黄斑変性では予後不良だが、保存療法が無効で活動性の高い近視性の症例、または中心窩が線維化した症例に対しては手術適応の可能性が残されていることを明らかにし、今後の脈絡膜新生血管治療研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は眼科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			